

平成30年11月16日
東北地方整備局

入札監視委員会の審議概要について (第二部会第2回定例会議)

東北地方整備局入札監視委員会の平成30年度第二部会第2回定例会議が、平成30年10月9日(火)に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要(別紙)についてお知らせします。

なお、第二部会第2回定例会議では、委員会が抽出した案件6件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

(第二部会) 仙台市青葉区本町3丁目3番1号

TEL (022) 716-0013(ダイヤル)

契約管理官

大野千昭(内線6221)

経理調達課課長補佐

米谷優(内線6554)

東北地方整備局 入札監視委員会（第二部会）審議概要

開催日及び場所	平成30年10月 9日（火） 東北地方整備局 会議室		
委員	部会長 是川 晴彦 【(国) 山形大学 人文社会科学部 教授】 部会長代理 我妻 崇 【弁護士】 委員 小出 英夫 【(学) 東北工業大学 工学部 教授】		
審議対象期間	平成30年 4月 1日 ～ 平成30年 6月30日 (上記期間に契約締結した案件を審議)		
審議案件	総件数 6件 (別紙—1 審議案件一覧のとおり)		
工 事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	1件	(備考) ・審議に先立ち、 (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告が行われました。
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	2件	
	工事希望型競争入札	0件	
	指名競争入札	0件	
	随意契約	0件	
	建設コンサルタント業務等	2件	
役務の提供等及び物品の製造等	1件		
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	別紙—2のとおり		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はありません。		

審 議 案 件 一 覧

【工事】

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）	仙台空港B滑走路地盤改良外工事	空港等土木工事	2者	2者	H30.5.25	五洋建設(株)	623,160	91.89	塩釜港湾・空港整備

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	八戸港八太郎・河原木地区航路泊地(埋没)付帯施設本体工事	港湾土木工事	1者	1者	H30.5.18	畑中建設工業(株)	149,040	99.07	八戸港湾・空港整備
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	仙台塩釜港仙台区向洋地区岸壁(-14m)耐震改良工事	港湾土木工事	2者	1者	H30.6.5	五洋建設(株)	612,360	99.83	塩釜港湾・空港整備

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業 務 名	業務区分	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式	水中部施工状況確認業務	建設コンサルタント等	1者	1者	H30.4.2	(一社)日本潜水協会	72,360	99.78	港湾空港部

入札方式	業 務 名	業務区分	手続きへの参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
簡易公募型競争入札方式	酒田港国有港湾施設維持管理計画策定業務	建設コンサルタント等	13者	10者	H30.6.20	中電技術コンサルタント(株)	16,416	79.85	酒田港湾

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業 務 名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式	東北地方整備局人材派遣業務【単価契約】	役務の提供等	5者	4者	H30.4.2	キャリアバンク(株)	2,737	99.70	港湾空港部

1. 報告	
意見・質問	説明・回答
意見・質問なし	

2. 審議	
意見・質問	説明・回答

1 仙台空港B滑走路地盤改良外工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が2社となったのはどのような理由が考えられるか？ ・具体的にはどういう意味か？ ・技術者を確保できないということならば、将来的に育てるとか、増やすようにするとかはできないのか？ ・金額が高い者が、加算点が2点差で逆転して落札している。何かいい提案があったからか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札説明書をダウンロードした者で、参加しなかった7者のうち3者にヒアリングしたところ、「技術者の配置が困難なため参加しなかった」との理由でした。 ・同種工事の経験のある資格を持った技術者がいなかったということです。 ・業界全体の課題であり、我々も増やしていきたいと思っていますが、この工事は特殊で、供用中の空港の滑走路での工事であり、経験を有している技術者は多くはいません。 ・NETISの技術が提案されたので、そこを評価し加算しています。
2 八戸港八太郎・河原木地区航路泊地(埋没)付帯施設本体工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・落札率が非常に高いが、何か推定される原因はわかるのか？ ・参加者が1者になった理由はわかるのか？ ・技術者は、その会社の人でないといけないという決まりはあるのか？他社から持つてくることはできないのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・積算基準、見積参考資料や各種単価が公表されていること、過去の同種工事の積算内訳書も公表されていることから、高い精度の積算が可能だったと思われます。 また、セルラーブロックやケーソン製作工事は、製作サイクルが概ね決まっておき、工程短縮などの企業努力の入る余地が少ない工事であることが影響した可能性もあると思っています。 ・入札説明書をダウンロードした者が3者おりました。そのうち参加しなかった2者にヒアリングをしたところ、1者からは「県の工事が繰越しになったことから、技術者の配置ができなくなった」とのことです。もう1者は「技術者が足りないので、参加を見送った」とのことでした。 ・3ヶ月以上の雇用関係があることが必要です。
3 仙台塩釜港仙台港区向洋地区岸壁(-14m)耐震改良工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・落札率が非常に高いが、八戸港の案件と同様、毎年行っている工事だからか？ ・参加可能者が46社もいるのに、参加したのは2社なのは、どう考えているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・直近では28年度に同じ工事を行っています。その前は26年度に行っています。見積参考資料も提示していることから、ある程度予定価格の推測は可能であると思われます。 ・当方もできる限り参加者を増やしたいと思っています。しかし、本工事は特殊で、日中のコンテナターミナルでの荷役が終わった後の夜間に工事をするというものです。その中で、コンテナ船の荷役がスケジュール通りにならない場合など、日によっては施工時間が取れないということもあり、過

<ul style="list-style-type: none"> ・入札説明書をダウンロードした者は何者か？ ・監理技術者は、一つの仕事にしか従事できないのか？ 兼ねることはできないのか？ ・1者が辞退したことは、他者はわかるのか？ ・先ほどの説明のように、夜間等のリスクがあることから、予定価格ギリギリで入れてきたということか？ ・本来であれば、2回目で落ちなければ終わりのところを、予定価格との差が少なかったから、3回目も行ったのか？ 	<p>去の工事でも同じようなことがおきていますので、このようなことが敬遠された理由ではないかと考えています。また、夜間工事であることから、我々との打合せ時間を含め、昼夜通しての体制をとらなければならないことも、応募者が少なかった原因ではないかと推測しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12者いました。そのうち応募者は2者でしたが、最終的には入札者は1者となりました。1者辞退した理由は、他工事を受注したことにより、配置予定技術者を配置できなくなったとのことです。 ・現場が近い場合は兼ねることができる場合もありますが、基本的には兼任は認めていません。 ・どの者が何者参加しているかはわからないようになっていきますので、辞退したかどうかはわかりません。 ・復旧・復興工事で、国の工事だけでなく他の工事もあり、夜間工事等の負担のある工事を無理してまで取ろうという考えではないものと思われます。 ・2回目の入札時において、予定価格との差が数万円であったことから、3回目の入札を行えば落札すると判断したこと、また、再公告となれば契約までさらに3ヶ月の期間を要し、事業進捗に遅れが生じることから、3回目の入札を行ったものです。
--	--

4 水中部施工状況確認業務

<ul style="list-style-type: none"> ・これも落札率が非常に高いが、考えられる理由は？ ・この案件も、先ほどの仙台塩釜港の案件と同じく、無理して利益を少なくしてまでは取らないということか？ ・港毎に発注する方法もあるのでは？ ・潜水協会は、この金額で落札できると思って入れてきているのか？ ・実際作業するのは、会員が行うのか？ ・潜水協会が潜水士を抱えているわけではないのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・積算基準や見積参考資料、各種単価も公表されていることから、精度の高い積算が可能であり、全体的な業務を見て総合的に判断して、応札したものと思われます。 ・この業務は、直轄事業を実施している管内全ての港を対象とする広域的な業務内容であり、一般のコンサルタント業者は行いつらい業務かもしれません。当局としては、競争性を高めるために要件の緩和を行っていますが、今回のような結果となっています。 ・港毎に発注すれば、経費が高くなってしまいます。 ・この金額くらいの経費はかかると思って、入れてきたものと思われます。 ・そうです。 ・潜水協会の会員である潜水会社に所属し、資格のある潜水士を、利害関係のない工事に派遣しています。
--	--

5 酒田港国有港湾施設維持管理計画策定業務

<ul style="list-style-type: none"> ・指名する段階で、1点差で非指名となっているのはかわいそうな気がするが？ ・維持管理計画が策定済みとされている箇所も測量して修正をしているとのことだが、経年変化は当初の範囲内ではないのか？ ・非常に落札率が低い、業務の内容から低いのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札説明書にも記載されていますが、10者程度を指名することになっています。同点の場合は10者を超えることもあります。差がついた場合は10者としています。 ・変状の程度が想定範囲内であれば修正を行いませんが、当初の想定よりも大きな変状があれば、原因の究明と合わせ、修正することになっています。 ・維持管理計画業務は随時発注していることから、これまでの当方の考えかたがある程度推測できるということ、業務も毎回同じような内容であり、非常にやりやすい業務であることから、受注意欲が高く、調査基準価格ギリギリのところが集まったと思われます。また、夏場の業務であり、リスクはほとんどなく、自社が持つ技術力を発揮できる業務であることから、意欲が高かったと思われます。
--	---

6 東北地方整備局人材派遣業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幹部の秘書は、人材派遣で対応しているのか？ ・ 派遣の場合、情報漏洩とかで問題はないのか？ ・ 予定価格の1,344円は、一般的な金額か？ ・ 取った者は、参考見積もりよりも下げて入札してきたということか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定員や予算の事情もあり、職員での配置が困難であること、また、幹部秘書という業務であることから、人材派遣を活用して適任者を配置することとしています。 ・ 契約書の中で守秘義務を設けていますので、問題はありません。 ・ 広く売られている積算本の「秘書業務」の単価は、東京と大阪の単価しか記載されていないことから、参加した5者から仙台での市場価格の参考見積もりを取り、一番低い金額を採用しました。 ・ 入札の結果は、参考見積もりで最低価格を提出した者とは別の者が落札しました。なお、昨年も同じ業務を発注しており、その時の入札額（1,360円）が公表されていることから、これも参考にしたものと推察します。